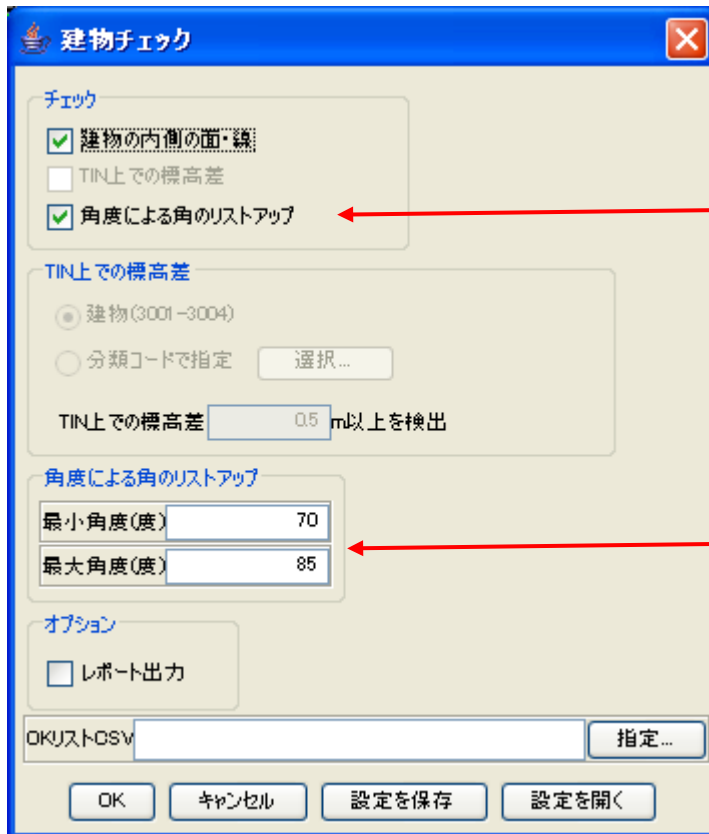


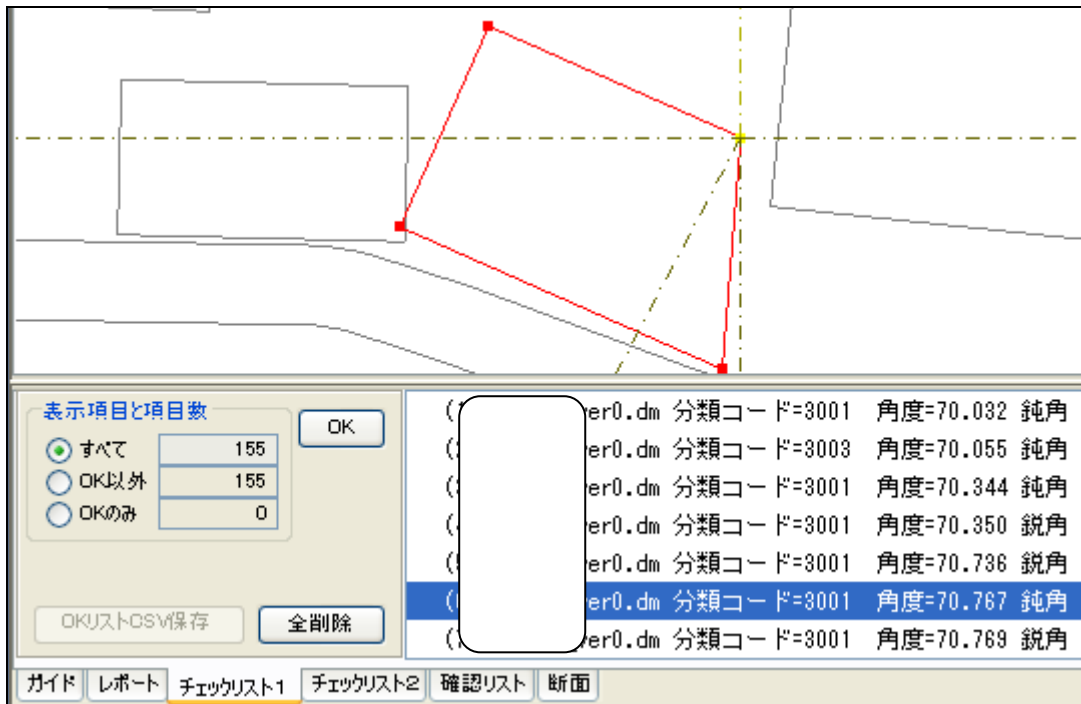
1. 建物チェック

メニュー「チェック」の「建物チェック」に「角度による角のリストアップ」を追加しました。



角度による角のリストアップ

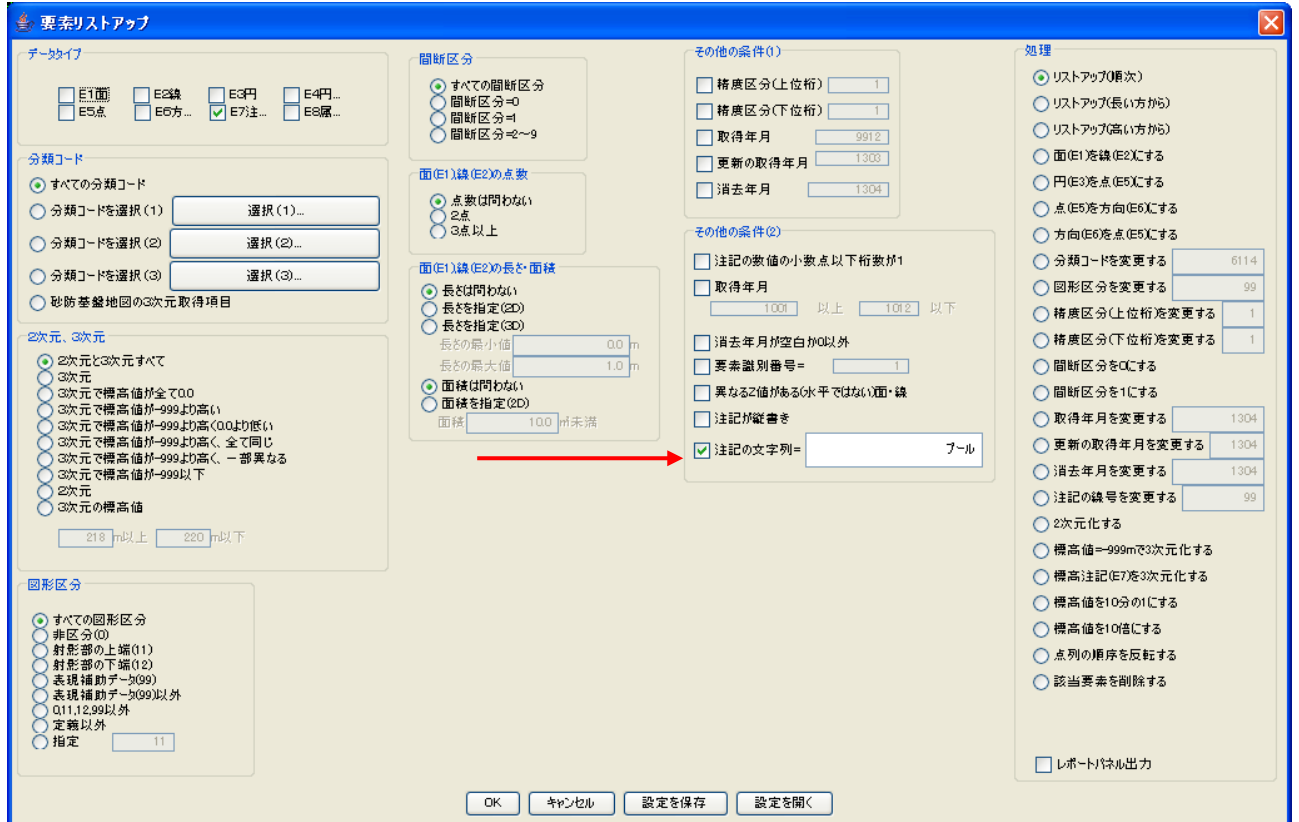
建物のポリラインについて、指定した角度の範囲内で曲がっている点をリストアップします。建物の形状が崩れているかもしれない箇所を調べるための機能です。



分類コードが 3001,3002,3003,3004 の面(E1)と線(E2)について、各点の角度を調べます。角が 90° 以上の場合、「 180° 度-内側の角度」で判定します。ダイアログで指定した角度の範囲内にある場合、リストアップします。図形が閉じている(始点と終点と同じ座標)場合、その点での角度も調べます。図郭別に調べます。チェックリストには角度が小さい方からリストアップします。

2. 要素リストアップ

メニュー「ツール」の「要素リストアップ」に「注記の文字列」を追加しました。



注記の文字列

注記(E7)について、注記の文字列がダイアログで指定した文字列と完全に同じ場合を対象にします

3. Deleteキーによる操作

Shift キーをおしながら Delete キーを押すと、選択されている面・線要素を削除するようにしました。

Delete キーを押すことにより、選択されている要素の点を削除することができます。

選択されている要素	Delete キーによる動作
点要素 (E5)	点要素を削除します
面要素 (E1)、線要素 (E2)	要素内で選択されている点を削除します (要素の削除は[座標値パネル]のポップアップメニューで可能です) Shift キーを押しながら Delete キーを押すと、要素を削除します。

変更した要素の情報をステータスバーとレポートパネルに表示します。

編集メニューで削除の取り消し、再実行ができます。